

に大勢直進す青き人を居るしる愛に究竟の所ありそ
旗炮の者をきり後のさま山のけりて城中と見おろし敵
おのけり城兵もこれ防く力ふもあく今いかうよと見し
る城中の者を城を破り狭き道をくりて敵先にと逃落る
あまのいよく力を得てきりて取廻り飛り懸るを以て城
を引倒し我もくときをこれ五ヶ所は討もふされし人とも
おはれば城たもあかし今一軍いさきよく戦つて立復き
人と大軍の門を押開き血はたありし太刀生向にさしかさし
火者多に名をうつるつまきく敵の中へ死物くもむに切て
今程に面を向へも横もあしこれ敵大勢ありと入替
け

また旗にり味方十騎とてきた討あふ今いそぎ追を戦兵のまにわらふ
そと地這り膝十まきにかき切て伏とりたるを惜まぬあやうき
の兵部北乃五ヶ所并常男ふ吉端久作を二人の首を両城
に火を付けて勝鬨ををあげたり是れさき山形より加勢に
差をれし兵駒を付けてゑきこれをは煙谷落城とる由生果
るたはよに力なりと引返さしとるる 柏 相模守飯田橋摩
守あふいとやあふ人を助えと馬をはやめてゆくた城中の男女
を助るを介近きの若畑谷落城おぼるる取物もさるる山形
さしとる所を春に敵大勢退かざるを橋摩守を是を足と相模に
南に兵部落人を引て逃さる我の跡にて防備中ぬしと